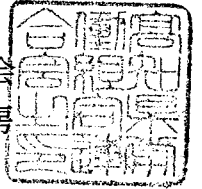


08県労連発第5号  
2008年12月5日

陸上自衛隊第14旅団第14施設中隊 御中

高知県労働組合連合会  
執行委員長 高橋 豊房



## 行軍訓練に抗議し中止を求める申し入れ

12月8日の早朝、貴隊は安芸郡田野町駅前を出発し、香南市香我美町岸本まで行軍訓練をおこなおうとしています。

貴隊の行軍訓練は、今回で3度目とのようですが、第2回目の行軍訓練（香南市から香美市）の様子が「高知民報」で報道され、県民は大きなショックと怒りを持ちました。人殺しの小銃を携帯し、迷彩服、ヘルメット着用と実戦さながらの様子でした。さらに県民を驚かせたのは、「この姿を市民に慣れさせることが目的」と述べていることです。

いま、世界は大勢として、「戦争から平和へ」と動いています。これは、世界に誇る日本の平和憲法が世界の諸国民から評価され、心をとらえてきている現れです。こういうなかで、日本が武力を誇示することや武力を賛美することがあってはなりません。

行軍訓練そのものに怒りを覚えますが、さらに許せないのは、実施日を12月8日という日にしたことです。

この日は、日本が侵略戦争を太平洋地域にまで広げた記念日です。この戦争で日本国民310万人、アジア諸国民2000万人の尊い命が奪われました。したがって、この日は「再び過ちは繰り返させない」と全国でさまざまな平和行事が取り組まれる日となっています。

「せめて日々が平穏に」というささやかな県民の願いを軍靴で踏みにじる行軍は断じて看過できるものではなく、直ちに中止するよう申し入れるものです。